

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	三石出張所管理運営事業		コード	担当課係	三石出張所
事業実施期間			06-01-12-04	担当者	津村 稔
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健全で自立したまちづくり	電話	0869-62-0501	
	中項目	簡素で効率的な行政運営			
	小項目	その他事務管理(財産)			
	施策	財産管理			

事業について	
目的	本庁担当課(主に税務課、市民課、保健課、福祉事務所、財政課他)と連携をとり、市民サービスの向上をめざす
対象(誰のために)	三石地区住民他(約3,500人)
内容	窓口受付業務 ①市民課関係(転入転出届、住民票、印鑑登録証明、戸籍謄本他発行)②税務課関係(税込納、諸証明発行他)③保健課(国民健康保険証加入脱退届、高額療養費申請他)④福祉事務所(高齢者、児童、障害者福祉)⑤貸館受付(別棟、二階会議室他)⑥三石駅前駐車場、舟坂駐車場受付

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
諸証明発行業務	3,199 件		
収入金収納業務	3,715 件		
貸館業務	延べ125 団体		
施設改修	2,100 千円		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源				
	直接事業費	4,939	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等				
	人件費	12,833	受益者負担		人件費		受益者負担				
	市債		市債		市債		市債				
合計	17,772	一般財源等	17,772	合計	0	一般財源等	0	合計	0	一般財源等	0

必要人員	3.00	人
結果指標名	諸証明発行業務	
結果指標量	3,199	
単位	件	
対前年比	—	0.00%
事業費	5,916,000	円
単位当たりコスト①	1,849	円

結果指標名	収入金収納業務	
結果指標量	3,715	
単位	件	
対前年比	—	0.00%
事業費	5,673,000	円
単位当たりコスト②	1,527	円

事業の成果		
成果指標名	収入金収納業務	式又は説明
成果指標量	17年度 3,715	
対前年比	—	0.00%
到達目標値	3,900	到達目標年度 平成18年度

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等:
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

総合評価	コメント	評価区分
	平成17年度窓口業務カウンタ7039件 評価視点を考慮した結果、住民サービスのために継続する必要がある。	<A~E> C

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	3,350	結果指標量②	3,900
目標値	結果指標量		

改善事項	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性		本庁(各係)との連携を密にし、コスト削減に努める	早期	本庁担当職員のロスタイム減少

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。